

局所進行/転移性尿路上皮癌の最適な治療戦略開発に関する研究

1. 研究の対象

2005 年 1 月～2024 年 12 月に局所進行/転移性尿路上皮癌の診断で治療を受けられた方

2. 研究期間

倫理委員会承認後～2029 年 3 月

4. 研究目的

局所進行/転移性尿路上皮癌は根治の難しい、予後の悪い疾患であり、近年まで全身化学療法が唯一エビデンスのある治療法でした。近年、この分野における新規治療方法の開発は目覚ましく、複数の有望な新規治療法が近い将来利用可能となることが期待されております。一方で、どの治療法がその患者さんにとって最適であるかは十分に検討されておらず、患者さんごとに最適な治療法を判定する手法の確立が急務となっております。本研究は局所進行/転移性尿路上皮癌と診断され、治療を受けられた方を後ろ向きに解析することで、予後や治療効果、有害事象発症に関連する因子を明らかとし、患者さんごとに最適な治療法を決定する手法の確立を目指します。

5. 研究方法

局所進行/転移性尿路上皮癌と診断され、定期的に検査(CT など)や治療(全身化学療法など)を受けられた患者さんを後ろ向きに検討し、予後に関連する因子の解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、検査歴、治療歴、副作用等の発生状況、病理の情報、カルテ番号 等

7. 研究組織

東北大学病院 泌尿器科 佐藤琢磨

参加病院 15 施設

8. 利益相反(企業等との利害関係)について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。使用する研究費は運営費交付金です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学泌尿器科学分野 佐藤琢磨

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 TEL 022-717-7278 FAX 022-717-7283

takuma.sato.a4@tohoku.ac.jp

研究責任者：東北大学泌尿器科学分野 佐藤琢磨

研究分担者：喜屋武 淳

白河厚生総合病院 泌尿器科

〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎 2-1

TEL：0248-22-2211